

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語 2
科目基礎情報					
科目番号	101120		科目区分	一般 /	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	前期:4 後期:2	
教科書/教材	精選国語総合 (東京書籍) / 国語要覧 (大修館書店)、ジャンプアップ高校漢字問題集 [改訂版] (東京書籍)				
担当教員	森長 新,石川 美千子				
到達目標					
1. 評論文の確かな読解力を身につけ、論理的で客観的に表現する。 2. 近現代の文学作品に関する基礎的な知識を身につけ、感想を表現する。 3. 古文の文法的な知識、読解方法を身につけ、内容を正確に理解する。 4. 漢文訓読の知識、読解方法を身につけ、内容を正確に理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	内容を正確に理解し、自分の考えを論理的に表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。
評価項目2	内容を正確に理解し、自分の感想を表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。
評価項目3	内容を正確に読み取り、現代語訳することができる。		文法事項を理解し、内容を読み取ることができる。		音読することができる。
評価項目4	内容を正確に読み取り、現代語訳することができる。		書き下し文を書くことができる。		音読することができる。
学科の到達目標項目との関係					
教養 (D) コミュニケーション能力 (E)					
教育方法等					
概要	あらゆるジャンル、あらゆる時代の優れた文章を読み、読解力を向上させ、自分の考えを論理的にまとめ、発表する力を養い、さらに書く力（表現力）をも養うことを目標とする。同時に日本と中国の古典、近現代の作品に触れることで思考力を向上させ、豊かな感性を育み、自ら進んで文学作品に接する気持ちを高める。				
授業の進め方・方法	国語 1 の内容を継続し、読解力や表現力のさらなる向上を目指し、古典の豊かな世界を鑑賞するように努める。授業の前には必ず教科書を目を通しておくなど、予習をしてほしい。夏休みには読書感想文を課す。				
注意点	漢字テストや提出物等は、平常点に組み込むので、しっかりと取り組んでほしい。				
本科目の区分					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	随想「記憶にない街路樹」 作り物語りと軍記物語「竹取物語」	1,3	
		2週	随想「記憶にない街路樹」 作り物語りと軍記物語「竹取物語」	1,3	
		3週	随想「記憶にない街路樹」 作り物語りと軍記物語「竹取物語」	1,3	
		4週	小説 1 「ドライ・クリーニング」 唐詩	2,4	
		5週	小説 1 「ドライ・クリーニング」 唐詩	2,4	
		6週	小説 1 「ドライ・クリーニング」 唐詩	2,4	
		7週	中間試験		
		8週	試験返却		
	2ndQ	9週	評論 1 「水の東西」 和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	1,3	
		10週	評論 1 「水の東西」 和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	1,3	
		11週	評論 1 「水の東西」 和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	1,3	
		12週	評論 1 「水の東西」 俳諧「奥の細道」	1,3	
		13週	評論 2 「時間と自由の関係について」 史話	1,4	
		14週	評論 2 「時間と自由の関係について」 史話	1,4	
		15週	評論 2 「時間と自由の関係について」 思想「論語」	1,4	
		16週	期末試験		
後期	3rdQ	1週	評論 3 「ものと記号」	1	
		2週	評論 3 「ものと記号」	1	
		3週	評論 3 「ものと記号」	1	
		4週	評論 3 「ものと記号」	1	
		5週	詩歌「十五の心－短歌抄」「白牡丹－俳句抄」	2	
		6週	詩歌「十五の心－短歌抄」「白牡丹－俳句抄」	2	

		7週	詩歌「十五の心－短歌抄」「白牡丹－俳句抄」	2
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	評論4「白」	1
		10週	評論4「白」	1
		11週	評論4「白」	1
		12週	評論4「白」	1
		13週	小説3「鏡」	2
		14週	小説3「鏡」	2
		15週	小説3「鏡」	2
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとられず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	

				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0